

平成 29 年度ボランティア検討部会における検討状況について

1 開催日

- 第 1 回 平成 29 年 7 月 6 日 (木)
- 第 2 回 平成 30 年 1 月 30 日 (火)

2 主な検討内容

- (1) 団体間における連携方法等について
- (2) 大会時におけるブラジルオリンピック委員会の受入れに伴うおもてなしの検討

3 各団体における取組

- (1) 晴海五丁目クリーンアップ作戦の実施
地域スポーツクラブ大江戸月島は、東京 2020 大会開催決定後から選手等を歓迎するおもてなしの一環として、選手村周辺を定期的に清掃している。平成 29 年 11 月からは東京都、特定建築者及び全ての工事受注業者とも連携して清掃を開始した。
実施日：毎月第一土曜日 午前 8 時～
- (2) ブラハルミの実施
晴海地区将来ビジョン推進会議の構成員が中心となる晴海おもてなし実行委員会は、「晴海を知る」「知ってもらおう」「大会を迎える」をテーマに街めぐりを体験し、晴海の魅力を再発見することを目的としたイベントを実施した。
実施日：平成 29 年 11 月 26 日 (日)

4 今後の進め方

- (1) ボランティアに関する各団体との連携方法の検討
次代を担う子どもたちへのボランティアマインドの育成や参加を軸に、親世代やシニア層への波及も含めて、今後の団体間の連携を検討していく。
- (2) ボランティア情報の周知方法の検討
ボランティア情報の収集・発信体制を強化し、ボランティアの裾野拡大を図っていくため、区内のボランティア情報を集約するポータルサイトの設置等を検討していく。
- (3) ブラジルおもてなしプロジェクトの検討
豊海小学校におけるブラジルオリンピック委員会の受入れに伴い、語学ボランティアはもとより、校内でのボランティア活動や各団体が主体となって取り組む「おもてなしルーム (仮称)」を活用した伝統文化体験、交流プログラム等のおもてなしの実施に向けて検討していく。